

政権の危うい暴走 憲法無視を許さない

平和・人権・民主主義に危機が迫る 若い民主主義で日本を復活

多数の声を無視し続け、憲法原則を強引にひっくり返すという暴挙を平然と行い、さらに自らの歪んだ信念に基づく憲法改正を視野に入れる安倍自民党。それは戦後70年かけて日本国民が血の滲むような努力で熟成した、

平和・人権・民主主義を根底から覆すものであり、絶対に看過することは出来ない。民主党は、国民のために真の政治を取り戻すため最大限の努力をする。このままでは暗黒の世界に逆戻りしてしまう。

五月会だより

The Satsukikai Dayori

No.129

編集・発行 / 江田五月会
編集責任者 / 江田洋一
〒700-0837 岡山市北区南中央町1-9
電話 086-234-1151 FAX 086-234-2251
ホームページ <http://www.eda-jp.com/>
印刷 / 白井印刷株式会社

国民の声を突き付けよう アベ政権にNO!

《新しい年ー憲法の危機》

丙申（ひのえさる）の新年を迎えました。しかし、なかなか「おめでとう」と寿ぎ合う気分になれませぬ。戦後70年の間、私たちは近隣諸国をはじめ世界各國とともに、平和で安定した歩みを続けて来ましたが、その根底には、私たちの「日本国憲法」があったと思えます。平和主義、民主主義、基本的人権という憲法の三原則があったからこそ、先の戦争で大きな被害を受けた世界の人々も、日本の歩みを受容し祝福したのです。ところが安倍政権は、この憲法原則を根っから覆すことを企図し、9月には憲法違反の集団的自衛権行使を含む安保法制を強行制定



しました。秋には、野党の一致した国会召集要求を無視し、憲法には「召集しなければならぬ」と規定してあるのです。憲法をここまで無視する政権ですから、今夏の参院選で憲法改正発議のできる三分の二を得て、本格的に改憲に取り組むでしょう。私は、憲法に指一本触れてはいけません。確かに今の憲法の制定時にGHQの関与があったことは事実です。しかし日本側の制定努力も、当然ありました。またこの憲法に十分な検討の無いまま制度設計された部分もあります。さらに例えば環境権や知る権利などのように、戦後の歩みの中で憲法的支持

を得た権利も、憲法典の中に規定したものです。このように、戦後七十年を支えてきた良い憲法を、さらに良いものにするのなら、国民投票にかける改正原案の作成協議をします。しかし、安倍首相の改憲意図は、GHQの素人が短期間のうちに作った代物で、悪い憲法だから変えようというもの、方向が真逆なのです。憲法とともに歩んだ戦後の歩みを清算するのか、それをさらに継続・発展させるのか、重大な岐路です。安倍首相の下では、憲法の良い部分まで捨て去ることになります。

《民主主義・人権》

平和主義だけが憲法の危機ではありません。例えば特定秘密保護法のように、民主主義も揺らいでいます。現在でも、公務員法などの守秘義務規定があるのです。何が特定秘密とされたかも判らなくなり、後世の検証もできなくなり、しかも、憲法九十条という明文の規定に反し、会計検査院の検査もかいくぐるというのです。人権はどうでしょう。労働基本権は基本的人権の重要な部分ですが、労働者派遣法改悪は既に行われ、労働基準法も改悪の危機に直面しています。憲法二十五条は、すべての国民に最低限度の健康で文化的な生活を保障しています。最高裁はかつて、これはプログラム規定で、目標に向かって努力すればよいと判示

しましたが、半世紀も前のことで、今では、単なる努力規定だと居直るのは、憲法無視になると思います。

《ミャンマー総選挙を見て》

11月にミャンマーの総選挙を見てきました。民政移行とはいえないものの、実質的には軍が牛耳っているテイン・セイン政権により、国際社会から多数の選挙監視団がお招きを受けたのです。これまで選挙が行われたことはあるのですが、選挙後に議会が召集されなかったり、あまりに軍の統制が酷くて国民民主連盟という最大野党が参加しなかつたりで、実質的には初めての民主的な選挙でした。

有権者だけでなく、選挙事務を執り行う人々も、選挙に慣れておらず、投票管理や開票作業はどうなることかと思うところもありました。それでも皆がゴザに車座に座り込んで、その外を立会人が取り囲み、透明な開票作業をしているのは、手作り感がありました。どこでも選挙事務の中心は女性でした。車座の作業はみな女性で、男性はその外で蛍光灯を持って照らしているだけでした。

投票は長い列ができていました。並んでいる若い女性が、日本語で話しかけてきました。聞くと18歳で、これからは日本が進出してくるので、日本語が仕事で役に立つという答えでした。投票率ははっきりしませんが、おそらく七十数パーセントだと思います。若い民主主義が育ってきているのです。



明けましておめでとうございます。昨年の通常国会で、与党の賛成多数により安保法案が強行採決されました。圧倒的多数の憲法学者の論にも耳を貸さず、多くの国民の声を無視する中で、強行採決をした安倍政権の暴挙を厳しく批判したいと思います。平和主義、立憲主義、国民主権に反して違憲立法を行う安倍政権を倒すために、今年行われる参議院選挙でぜひとも多くの皆さんの力を貸し下さるようお願いいたします。



江田五月会会長

河原昭文



facebookやっています。江田五月の活動は、ホームページとfacebookでチェック。カメラとタブレットは少し荷物がかさばるけれども、どこに行くにも必需品。できるだけタイムリーに、詳細に皆さんにお伝え出来ればと考えています。ぜひご覧ください。



安倍政治の憲法無視政治を断ち、安保法制に紛れ込ませた違憲部分を排除し、立憲政治を再び輝かせなければなりません。私自身も、若い皆さんの挑戦を受けて乗り越えたいと、本気で願っています。民主党をはじめとする野党からその躍動感が失われたら、何のための私の政治家人生だったのか分からなくなり、皆さんの一層のご支援を、切に願っています。

(2015年12月12日記)

江田五月会



2961619 (2015年12月16日現在)

まもなく300万アクセス突破